



座間小キャラクター
ざまん

校長のつばやき

ぶ?

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つぶやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれません。なのでつばやき…。

【運動会むかしばなし】

第130回！！と言っていますが、明治28年の開校当時から運動会は開催していたのでしょうか？？？残念ながら一番古い資料は昭和25年のものでした。しかし、運動会は学校行事の目玉ですから、きっと開催したでしょう。

私が子どもの頃は、運動会を年2回開催していました。春の小運動会、秋の大運動会です。私の母校は当時1700人くらい児童がいたマンモス校でした。先生も100人位いたと思います。それでも、全員で年2回実施していたので、当時の先生方は大変だったでしょう。

校庭には万国旗がつりさげられ、4色のくす玉がぶらさがっていました。本当に本当に、運動会を楽しみにしていました。練習がきつくて文句をいいながらも、きつい練習をしている自分たちの学年を誇りに思っていた気がします。学級がたくさんありましたから、色も4色。赤組・白組・青組・黄組です。個人的に青組になった時は嬉しかったです。ちなみに、青組と黄組は、体育の白帽子に色ハチマキをぐるっと縫って付けます。それがかっこよかったです。

当日は、午前7時に花火があがり、テンションMAX。鼓笛隊の演奏で始まり、全校種目、徒競走、ダンス、学年種目、保護者競技…お昼を家族で食べたのはいい想い出です。午後は、なぜか地元の盆踊りをしてから応援合戦、6年生の組体操、さいごは4色対抗リレーで最高に盛り上がるフルメニュー。

勝敗もきっちりつきました。優勝した時はスキップして帰りました。優勝できなかったときは、ずーんとしずみながら、来年絶対勝つ！と友だちと言いながら帰ったものです。

今は子どもも減り、コロナ禍によって運動会そのものが見直されました。少し寂しくはなりましたが、運動会にむけて一生懸命練習する姿はいいものです。子どもの成長には欠かせないと感じます。

しばらく学校から離れていましたので、過程も含めて、学校行事はいいものだなと改めて感じます。

【座間防犯大使はアイドル！】先月、座間市役所で行われた「特殊詐欺撲滅キャンペーン」の出発式に行ってきました。お年寄りなどをねらった詐欺の撲滅のために、ごみ収集車から流す音楽をメッセージに替えて流すというものです。「まよったら家族に相談！」といったメッセージです。ごみ収集車がメッセージを流しながら座間市役所を出発していました。

そのメッセージの声の主はというと、座間防犯大使に委嘱された「アイドル」だつたんです。名前は「メノニューイヤー」という5人組のアイドル。収集車の前に登場した時は驚きました。メンバーの一人、やまざきはるなさんのおばあちゃんが座間市民という縁があるそう。座間市とアイドルのコラボ、良いと思います。

ちなみに、メノニューイヤーは、漢字？にすると「目の正月」。「目の正月」とは、とても美しいものを見て楽しむことで、一年で最も美しいとされる「正月」に例えられて、目の保養になることを言うそうです。当日は、ファンも大勢かけつけていて、目の保養になったことでしょう。

座間市役所の中庭で、本市のために一生懸命踊り歌うアイドルを見て、一日も早い詐欺撲滅を願うばかりです。

